

令和2年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
委員の評価集計及び総合評価

基本目標1 誰もが利用しやすい地域福祉の 仕組みづくり		判定			
		A	B	C	D
施策の方向性			15	2	
		A	B	C	D
1	誰もが利用しやすい体制・情報提供の充実		15	2	
2	地域福祉のニーズキャッチの充実		17		
3	福祉サービスの充実と権利擁護の推進	1	15	1	



A：計画達成
B：おおむね達成
C：遅延
D：未実施

施策の方向性 に対する評価
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標に対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

小委員会の意見

- ・ ニーズキャッチの手段が不足しているので、自治会や民生委員に頼るだけでなく、民間企業と連携するなど、安否確認やニーズキャッチの手段を広げて欲しい。
- ・ 行政は、縦割りであるため、総合相談窓口の設置は必要だと思う。高齢者がわかりやすい相談窓口が必要。
- ・ 分散型地域づくりを検討するにあたり、分散型窓口でA Iを活用しても、たらい回しが起きる恐れがあるため、十分に市民の立場に立って考えてもらいたい。
- ・ 総合相談窓口や成年後見制度基本計画など、進められているが、市民への周知をどのように図るか、今後さらに検討してほしい。
- ・ コロナ禍でオンライン等工夫されているが、今後さらにコロナ禍に対応した対策、特に、生活困窮の方への対策について検討を進めてほしい。

令和２年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
委員の評価集計及び総合評価

基本目標２ 誰もが暮らしやすい生活環境づくり		判定			
施策の方向性		A	B	C	D
1	生活環境の充実	1	14	2	
2	防災・防犯体制の充実		16	1	
3	地域での居場所づくり、活躍の場づくり	1	13	3	
4	地域における見守り体制の充実		16	1	

A：計画達成
B：おおむね達成
C：遅延
D：未実施



施策の方向性 に対する評価
B
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標に対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

小委員会の意見

- ・私有地からの立ち木の管理について、条例などを整備すれば、災害の時などに役立つのではないか。
- ・高齢者のみ等の世帯で、除草ができない方がいる。除草等困り事に対応する地域のボランティアによるサポーター制度について検討できないか。
- ・コロナ禍で、地域によって活動状況に差があり、地域格差が生じている。コロナ禍でも地域の役割をしっかりと担っていくことが大事であるため、対応をお願いしたい。
- ・コロナ禍に対応した災害対応を検討してほしい。
- ・障がいをお持ちの方の居場所づくり、社会参加、活躍の場づくりについて遅れが見られるため、検討が必要である。

令和2年度 那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画
委員の評価集計及び総合評価

基本目標3 みんなで支え合う、意識づくり、 人づくり、つながりづくり		判定			
		A	B	C	D
施策の方向性			15	2	
		A	B	C	D
1	お互いを理解し、尊重し合える環境づくり		15	2	
2	地域福祉活動の担い手の育成		15	2	
3	地域でのつながりづくり	1	14	2	

A：計画達成
B：おおむね達成
C：遅延
D：未実施



施策の方向性 に対する評価
B
B
B



A、B、C、Dで評価



基本目標に対 する総合評価
B

A：順調に進んでおり、引き続き現状を維持していく。

B：おおむね順調だが、不十分な点もある。

C：推進できている部分もあるが、不十分な点が多い。

D：推進の方法も含め、改善が必要である。

小委員会の意見

- ・コロナの影響で、様々な活動が休止しているが、人と人、地域のつながりは欠かすことができないことから、コロナ禍であっても何らかの創意工夫が必要である。
- ・子どもや高齢者が集まる活動等で、PCR検査を利用して、中止にしくても集めれるような仕組みを検討できないか。
- ・コロナ禍でのにしないケアネットの取組は非常に評価できる。コロナ禍でつながりが継続できるようにさらに検討してほしい。
- ・若い世代の担い手育成について、ボランティアセンターによる中高生に対する取組は評価できるが、勤労者世代等様々な世代に対して、担い手を育成できるように検討してほしい。
- ・障がいをお持ちの方のつながりの場、居場所づくり、理解し尊重し合える環境づくりが課題となっているので、より重要視して取り組んでほしい。